



## 令和2年度もあと1ヶ月

新型コロナウイルス感染症の状況ですが、第3波と言われている今回の感染状況も少しずつ落ち着いてきました。県内の1日の新たな感染者数も減少してきており、県独自の警戒レベルが2へと引き下げられました。ただし、新型コロナウイルスが無くなったわけではないので、引き続き感染対策を行っていきましょう。

2月15日(月)の朝、放送にて校長講話が行われ、校長先生からは、令和2年度もあと残すところ1ヶ月。「残りの日々を大切に過ごしましょう。」と全校生徒へ向けて声掛けがありました。講話内容は以下の通りです。

## 校長講話より

2月13日(土)の夜に、東北地方を震源とした最大震度6強の地震が発生しました。10年前の東日本大震災の余震であると言われています。災害はいつ起こるかわかりません。常に災害に備えた心構えや行動が大切です。いざというときに自分の命を守れる行動がとれるようにしてほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で、今まで経験したことのない学校生活も一年が過ぎようとしています。昨年2月25日に長野県内で初めて感染者が確認され、長野県では1年間で感染者が2345人(2月14日現在)、亡くなった方は39名(2月14日現在)になります。新型コロナウイルスの感染力には驚かされます。ここにきて全県の警戒レベルは2に引き下げられ、感染の第3波は収束しつつあると判断されていますが、この状況も決して安心できるものではなく、引き続き感染予防対策は必要です。気を緩めることなく、感染予防対策を徹底した学校生活を送ってください。特に3年生は高校受験の山場である後期選抜試験を迎えます。新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく、最高のコンディションで受験し、持てる力をすべて出し切ることができるよう残された時間を有意義に過ごしてください。全校の皆さんも今まで以上に感染予防対策を徹底し、3年生の受験を応援してほしいと思います。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で様々なことが中止、延期、内容の変更になり、つらいことや不満もあったと思います。以前にもお話ししましたが、白血病から復活した競泳女子の池江璃花子さんが、「どんなにつらくても、前を向いて頑張ることができるのは、希望が遠くに輝いているからだ」と語っています。先日も白血病の診断を受けてからちょうど2年たった2月8日、自身のSNSで2年前の当時を振り返るとともに、1年前、2年前の自身に向けたメッセージをつづりました。池江さんは「2年前の今日。人生のどん底に突き落とされた日。あの日を一生忘れることはできません。けれど、白血病の診断を受けた後の自分は、思いっきり泣いた後、マネージャーさんに、写真を撮って！と言えるほどこんなに笑顔でした。全てのことに開放され、ホッとしてたのかな」と病を診断された日を振り返りました。続けて「1年前とはまた違った気持ちで今日を迎えた気がする。2年前の自分に、2年後はもっと笑顔になれるよって伝えてあげたい。1年前はまだ退院して間もなく免疫抑制剤も飲んでいたし、吐き気もあったのかなあ？ よくここまで頑張った！！」と過去の自身に向けたメッセージでした。逆境からはい上がった池江さんの言葉には説得力があり、心打たれるメッセージです。私たちも、今は苦しい状況であっても必ず笑顔になれる日が来る。未来には希望が輝いていることを信じて、残された令和2年度の1ヶ月、1日1日を大切に過ごしましょう。

## 2月後半～3月の予定・・・

- 2月18日(木) 3学期期末テスト(1・2年)
- 19日(金) 生徒集会
- 23日(火) 天皇誕生日でお休み
- 3月 5日(金) 生徒集会・委員会
- 9日(火) 公立高校後期選抜①/3年特別日課(～16日まで)
- 10日(水) 公立高校後期選抜②
- 15日(月) 同窓会入会式(3年)
- 16日(火) 3年生を送る会
- 17日(水) 修業式・卒業式前日準備【給食なし】
- 18日(木) 卒業証書授与式【給食なし】
- 19日(金) 公立高校後期選抜合格発表  
春休み(～4月5日<月>まで/入学式4月6日<火>の予定)
- 29日(月) 新2・3年生準備登校日(新年度準備)【給食なし】・新2年生学級PTA役員決め

